

## グラムシ・ヘゲモニー論と現代政治思想

この講座のテーマは、20 世紀イタリアのマルクス主義思想家アントニオ・グラムシ (1891 - 1937) のヘゲモニー論の解説です。グラムシ・ヘゲモニー論の理解をすすめるためには、その前史としてヘーゲル、マルクス、レーニン、トロツキー、クローチェ、ソレル、ジェンティーレ等との継承関係にも目配りする必要がありますので、思想史的なアプローチになります。現代の政治現象・社会現象を考察・分析する上で、グラムシのヘゲモニー論を使ってどこまで行けるのか議論が出来ればと思います。現代の政治現象・社会現象として考えているのは、フォーティズムからポストフォーティズムへの移行、ファシズムとポピュリズムの共通点と相違点、機動戦から陣地戦への移行、メディアとしての政党論、サバルタン論などです。そのため、議論はグラムシ以降のマルクス主義理論の展開にも及びます。ルイ・アルチュセールの国家のイデオロギー装置論、マリオ・トロンティの社会的工場論、アントニオ・ネグリのマルチチュード論、ガヤトリ・スピヴァクのサバルタン論なども取り上げることになるでしょう。

### <参考文献>

グラムシ『革命論集』上村忠男編訳、講談社学術文庫  
 グラムシ『新編・現代の君主』上村忠男編訳、ちくま学芸文庫  
 中村勝己「ヘゲモニーの系譜学——グラムシと現代政治思想」、杉田敦編『講座 政治哲学 第 4 巻 国家と社会』岩波書店所収  
 など

時間 18:30 ~ 20:30

開催期間 2020.4~2021.3

第 3 金曜日開催

1. 4/17 (金) 10. 2/19 (金)
2. 5/15 (金) 11. 3/19 (金)
3. 6/19 (金) ※8 月は夏休み
4. 7/17 (金)
5. 9/18 (金)
6. 10/16 (金)
7. 11/20 (金)
8. 12/18 (金)
9. 2021/1/15 (金)

### 講師

中村勝己 (なかむら・かつみ)

1963 年生まれ。イタリア政治思想史研究。政治学博士。中央大学・群馬大学で非常勤講師。論文に「ヘゲモニーの系譜学——グラムシと現代政治思想」、杉田敦編『講座 政治哲学 第 4 巻 国家と社会』(岩波書店) 所収、市田良彦・王寺賢太編『現代思想と政治——資本主義・精神分析・哲学』(平凡社) 所収など。訳書にアントニオ・ネグリ『デカルト・ポリティコ』(共訳・青土社)、エリック・ホブズボーム『いかに世界を変革するか』(共訳・作品社) など。

